

「市長と語る会」を開催しました

11月7日から29日にかけて、市内9地区において、市長と市民の皆さまとの懇談会を開催しました。

市民の皆さまからのご質問やご提案に対し、市長や幹部職員が直接回答しました。その質疑応答の主なものについてお知らせします。
(掲載のご質問ご提言および回答については、懇談会当時のものです。)

◆海洋高校の跡地活用について

海洋高校の跡地を利用した総合型スポーツセンターは県の管理ではなく、市が取得するのか。土地の購入費用や建物の耐震化費用など、市で負担すべきものか。運営にしても県サッカー協会主体のNPO法人に任せ、毎年使用料を納めてもらうことで初期の市の負担費用を回収するとしているが、大丈夫か。市の財政支援は考えているか。

回答

県も財政が苦しい中で配慮し、建物と土地(7割)を無償で譲渡するという提示をされたものと思います。県は、不要な建物は取り壊し、必要な建物はそのまま市へ移管したい考えですので、市で耐震化することになります。県と十分交渉します。

▼海拔表示入りマップ



※1月に全戸配布しました

海拔表示入りマップは、地域で避難経路などの共通認識を持つていたいただきたいの思いから、各町内会に配布しました。全戸配布も検討しています。

回答

先日、各町内会に配布された海拔表示入りマップをぜひ各家庭にも配布してほしい。また、各町内の公民館にも海拔表示をしてほしい。

◆海拔表示について

運営は、NPO法人が有料でコートなどを貸し、その収入を充てる独立採算性を考えています。県サッカー協会では年間利用者を4〜5万人と見込み、詳細を試算しているところ。なお、赤字になった場合の市の財政支援は考えていません。

子ども手当についてお知らせ

今月は、子ども手当(平成23年10月～平成24年1月分)の支給月です。振込通知の送付はしませんので、入金通帳を記帳してお確かめください。
支給日 2月15日(水)



対象	支給額 (月額・1人当たり)
3歳未満(一律)	15,000円
3歳～小学校修了前 (第1子・第2子)	10,000円
3歳～小学校修了前 (第3子以降)	15,000円
中学生	10,000円

※18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある方で、年齢の1番高い方から第1子と計算します。

※10月以降の子ども手当の認定請求をしていない方、書類が整っていない場合は、支給されません。

問合せ先 子ども課 家庭福祉担当(内線325)

地域精神保健福祉推進協議会講演会

とき 2月21日(火) 14:00～15:30
ところ 市民交流プラザ3階 多目的ホール
演題 認知症の予防と早期の対応について
～お互いに支え合う地域づくり～
講師 魚津緑ヶ丘病院長・いかわ認知症疾患医療センター長 葛野 洋一さん
問合せ先 中部厚生センター 地域保健班
(☎472-0637)

黒部学園講演会

とき 3月10日(土) 13:20～16:30
ところ 新川文化ホール 小ホール **無料**
演題 生活力こそ全て
～自閉症・アスペルガー症候群の子育て～
講師 山形大学医学部看護学科教授・にゃっきーず理事 横山 浩之さん
申込期限 2月20日(月)まで
問合せ先 黒部学園 地域支援室「ほっとふる」
(☎0765-52-1354)

なめりかわ子育てメール

健診情報や子育てひとくちメモなど、子育てに役立つ情報をメールでお届けします。(事前の配信登録が必要です。)

市のホームページ、もしくは右のQRコードからモバイルページ(携帯版ホームページ)にアクセスして、配信登録をしてください。



問合せ先 子ども課(内線325)

おむつ等購入費の助成

在宅の重度寝たきり高齢者の方などを対象に、おむつや尿とりパッドを購入した費用の一部を助成しています。



対象 在宅介護を受けている方で、次の要件に該当する方
◆65歳以上の要介護度4または5の方
◆身体障がいの程度が1級または2級の方

助成額 年額48,000円を限度とする購入費の9割の額(市民税非課税世帯は年額72,000円を限度とする。)

申請に必要なもの
①購入品と購入年月日の記載のある領収書(平成23年3月1日から平成24年2月29日付の領収書が対象です。)

②振り込みを希望される金融機関の通帳
③介護保険被保険者証または身体障害者手帳
④印鑑(認印)

申請期間 2月20日(月)～3月9日(金)
受付場所 市民交流プラザ2階 福祉介護課窓口
問合せ先 福祉介護課 高齢福祉担当(内線764)
社会福祉担当(内線768)

ひきこもりに関する講演・交流会

ひきこもりに対する理解を深め、支援について学ぶと共に、同じ悩みを持つご家族と困っていることについて、一緒に考えましょう。

とき 2月26日(日) 13:30～16:00
ところ 新川文化ホール 104会議室(魚津市宮津)
内容 講演会および交流会

●「当事者の心と回復の過程」
講師 宮川 正文さん(体験者)
●「ひきこもりの理解と支援」
講師 臨床心理士 根塚 明子さん

対象 ひきこもりについて学びたい方、ご家族、関係者 など **無料**
申込み・問合せ先 中部厚生センター
(☎472-1234)

市政情報 メールマガジン「キラリンメール」



市政トピックス、くらしの情報・イベント情報など、ホットでタイムリーな話題や情報をメールマガジンとしてお届けします。

ご希望の場合は、事前に配信登録が必要です。パソコンの場合は、市のホームページ(「キラリンメール」バナー)へ、携帯電話の場合は、モバイルページ(携帯版ホームページ http://www.city.namerikawa.toyama.jp/m/)へアクセスして、配信登録してください。

問合せ先 企画政策課(内線224)

◆ほたるいかミュージアムのレストランについて

市の持ち出しが大きかったはずだが、直営ということになるとさらに負担が増えるのでは。駐車場が離れていたりと問題点が多い。割引券の発行や地産地消メニューなど、営業努力を。

回答

今年度、観光について検討委員会を立ち上げ議論しているところで、年度内には意見をまとめる予定です。また、県には栽培漁業センターや水産研究所で見学の工夫ができないか要望しているところです。

◆観光事業について

栽培漁業センターが拡張予定だが、周辺にほたるいかミュージアム、タラソピア、アクアポケット、水産研究所、漁港、水産加工会社、海浜公園などがある。それらを一体として、集客のしかけができないか。栽培漁業センターが、見学もできるようになればいい。

回答

3月からは(株)WAVE滑川の直営となる予定で、運営費については、市の持ち出しは無いと試算しており、詳細を(株)WAVE滑川で検討しているところ。駐車場や案内看板も含めたりリニューアルは、今年度設置した観光検討委員会で議論しています。ご意見については、今後の参考にさせていただきます。



詳しくは、市のホームページをご覧ください。

市民の皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

〒936-8601 滑川市寺家町104

475-6299 kikkaku@city.namerikawa.lg.jp

企画政策課 (内線221・222)